

本書の提出に終り中

一 争議發生ノ場所

東京府下大島町七丁目二百六十四番地

二 事業主側

イ 名 稱 谷口商店工場

ロ 代表者 谷口忠雄（個人経営）

ハ 資本金（投資額） 貳万圓

ニ 事業ノ種類 ステンシルガッシユノ製作

ホ 企業系統 ナシ

ヘ 使用労働者数 男九十八名

三 労働者側

イ 争議参加労働者数 男六十名

只加盟労働組合 總同盟東京鉄工組合大島第六支部
ハ 組合加入ノ争議参加者 男六十名

四 争議發生ノ時

昭和四年二月二日

五 争議發生原因

工場側ニ於テハ從來職工中ノ労働組員カ兎角工場主
ニ反抗スル悪癖アルヲ痛感シツ、アリシカ本年一月
中旬頃幹部ヲ工場ヨリ退カシムレハ他ニハ工場主ニ
反抗スル者モ無ク圓滿ニ作業ヲ為シ得（シト）ノ見解
ヨリ文部長タル清水國明及幹部山本直藏ノ兩名ヲ極
秘裡ニ工場主自宅ニ招致シ懇談シツ、アリテ兩者間
ニ稍妥協矣ヲ見出シテ圓滿退職ハル運ニ至ラントス